

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

競技は2019年日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

	ヤンマースタジアム長居	ヤンマーフィールド長居
6月12日(水)	13:00～17:00	13:30～16:30
13日(木)	7:30～8:50	7:30～競技終了まで
14日(金)	7:30～8:50	7:30～競技終了まで
15日(土)	7:30～8:50	7:30～競技終了まで
16日(日)	7:30～8:50	7:30～競技終了まで

(2) ヤンマースタジアム長居・ヤンマーフィールド長居とも芝生内は全面立ち入り禁止とする。

(3) 競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。競技場備え付けの器具を使用すること。
ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止する

(4) 投てき練習(メディスンボール等を含む)は競技場内外を問わず一切禁止する。(5日間とも)

(5) 両競技場とも危険防止のため日傘の使用を禁止する。(5日間とも)

(6) 競技開始前の競技場での練習は競技役員の指示に従うこと。

(7) ヤンマーフィールド長居で投てき種目の競技が実施されているときは練習場所を制限する。
安全確保のため、必ず競技役員の指示に従うこと。

(8) 練習会場では、事前に練習会場予定表および注意事項を確認し、遵守するとともに必ず競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

(1) 招集場所は、ヤンマースタジアム長居メインスタンド下室内練習場北側に設ける。

選手は1階エントランスホールから入場すること。(選手以外は入場できない)

(2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話・スマートフォン、タブレット等の機器は持ち込まないこと。

(4) 招集の手順

①競技者は招集開始時刻には招集所内に待機し、競技者係の点呼を受ける。トラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り両腰のやや後方に付け確認を受けること。

(4×100mは第4走者のみ。4×400mは第2・第3・第4走者が付ける)。

その際、ナンバーカード・腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認、商標等の点検を受ける。

②点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに本人が「多種目同時出場届」(プログラム巻末に綴込み)を競技者係に提出し、あわせて招集を受けることができない種目の点呼(ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの検査)を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻に代理人の点呼を認める。

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。

(6) リレー種目について

①オーダー用紙は、各ラウンド(予選・準決勝・決勝)とともに1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙は、プログラム巻末に綴込みのものを使用すること。

なお、オーダー用紙の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。

②出場メンバー全員が点呼を受けること。但し、他種目に出場している場合は上記(4)②に準ずる。

③ユニフォームは、同型・同色を原則とする。

- (7) 男子 5000m・3000mSC・5000mW と女子 3000m、5000mW は別ナンバーカードを使用する。
- (8) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の誘導に従うこと。
- (9) 止むなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、欠場届（プログラム巻末に綴込み）に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

(10) 混成競技

- ① 1日目・2日目ともに第1種目は招集所にて指定された時刻に行う。それ以降の種目では混成競技控室（ヤンマースタジアム長居メインスタンド下）で点呼を受けて、役員の誘導により競技場所へ移動する（トラック種目は競技開始の20分前、フィールド競技は40分前までに集合）。
- ② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に多種目同時出場届を提出しておけば、直接現地への移動を認める。
このとき競技者はフィールド種目においては、いずれの競技種目を優先させるかを定めることができるが、トラック種目と重なる場合ではトラック種目が優先となる。

4. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

- ① トラック競技の予選のレーン順、跳躍種目の予選、投てき種目の決勝の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、招集所とヤンマースタジアム長居第1ゲート外の掲示板で発表する。
- ② トラック競技における次のラウンドへの進出について
 - ア) (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100秒単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
 - ・レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の競技者の進出を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
 - イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、(+ α)の進出者数を減らす。
 - ウ) 800mとオープンレーンを使用する種目は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は全員を次のラウンドへ進める。

(2) 競技について

- ① 当該種目出場者以外は競技エリアに立ち入ることができない。
- ② スパイクのピンは11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。
- ③ ナンバーカードは配布された大きさのままでユニホームの胸部と背部につけること。
但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。
- ④ 短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ⑤ 男子5000m、と女子3000m、男女5000m競歩はグループスタートで行う。
- ⑥ 4×100mのマーカ―は、主催者が準備し、競技前に招集所で競技者係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマークは前走者が取り除くこと。
- ⑦ フィールド競技において、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
- ⑧ 競技エリア内に携帯電話・スマートフォン、タブレット等の機器は持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑨ 混成競技の走高跳は、競技者に最初の高さの希望調査を行い、その結果をもとに2組で実施する。
- ⑩ 混成競技の最終種目では、それまでの成績による順位を表す別ナンバーカードを胸に付けて競技を行う。背は競技者の個人のナンバーカードで、腰はレーンナンバーとする。
- ⑪ 投てき種目はヤンマーフィールド長居で行う。
- ⑫ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3) 跳躍種目の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳
男子	1 m 9 7	4 m 4 0	7 m 0 5	1 4 m 3 0
女子	1 m 6 3	—	5 m 4 5	—

(4) 三段跳の踏み切り板は、男子 1 3 m、女子 1 0 m とする。

(5) 走高跳、棒高跳のバーのあげ方は下記の通りとする。

男子走高跳	予選	(練) 1 m 8 8 (競) 1 m 9 1 - 9 4 - 9 7 (練) 1 m 9 4
	決勝	(練) 1 m 9 1 (競) 1 m 9 4 - 9 7 - 2 m 0 0 以後 3cm ずつ上げる (練) 1 m 9 7
女子走高跳	予選	(練) 1 m 5 4 (競) 1 m 5 7 - 6 0 - 6 3 (練) 1 m 6 0
	決勝	(練) 1 m 5 7 (競) 1 m 6 0 - 6 3 - 6 6 以後 3cm ずつ上げる (練) 1 m 6 3
男子棒高跳	予選	(練) 4 m 1 0 (競) 4 m 2 0 - 3 0 - 4 0 (練) 4 m 4 0
	決勝	(練) 4 m 2 0 (競) 4 m 3 0 - 4 0 - 5 0 以後 10cm ずつ上げる (練) 4 m 6 0
女子棒高跳	決勝	(練) 3 m 0 0 (競) 3 m 1 0 - 2 0 - 3 0 - 4 0 - 5 0 - 6 0 (練) 3 m 5 0 以後 5cm ずつ上げる
男子八種競技 走高跳	1 組	(練) 1 m 4 2 (競) 1 m 4 5 - 4 8 - 5 1 以後 3cm ずつ上げる (練) 1 m 6 0
	2 組	(練) 1 m 6 6 (競) 1 m 6 9 - 7 2 - 7 5 以後 3cm ずつ上げる (練) 1 m 7 5
女子七種競技 走高跳	1 組	(練) 1 m 1 4 (競) 1 m 1 7 - 2 0 - 2 3 以後 3cm ずつ上げる (練) 1 m 3 5
	2 組	(練) 1 m 3 2 (競) 1 m 3 5 - 3 8 - 4 1 以後 3cm ずつ上げる (練) 1 m 4 7

*同記録による 1 位決定と全国大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

5. 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してよい。その場合、

出場競技者全員で共有できるものとする。検査時刻は競技開始時刻の120分前～60分前までとし、ヤンマースタジアム長居の用器具庫で行う。競技終了後現地で返却するので持ち帰ること。混成競技のやりの検査は競技開始予定時刻の60分前までとする。

6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）から、所定の手続きをとるものとする。

7. 表彰について

- (1) 各種目6位までの入賞者を表彰する。成績発表後ただちに受賞者席（ヤンマースタジアム長居メインスタンド下中央ロビー）に集合すること。他種目に出場している場合は必ず表彰係に連絡のうえ、代理人を出すこと。なお、7位・8位の者にも賞状があるので中央ロビーの表彰係まで受け取りにくること。
- (2) 各種目表彰では優勝者の所属校の部旗を掲揚するので、中央ロビーの表彰係まで持参すること。
- (3) 表彰式では次の表彰を行うので必ず参加すること。
 - ①男女別で総合・トラック・フィールドの部で第3位までに入賞した学校
 - ②男女各優秀競技者
 - ③男女各総合優勝校の監督

※全国インターハイ出場は各種目6位までに入賞した者とする。ただし走高跳・男子棒高跳は6位までに入賞した6名。男子5000mW、女子5000mW、女子三段跳、女子ハンマー投は4位までに入賞した者。女子棒高跳は4位までに入賞した4名。男子八種競技、女子七種競技は3位までに入賞した者および各ブロック予選会の4～6位入賞者のブロック予選会記録（公認・非公認を問わない）の上位5名の者とする。

8. その他

- (1) 競技場の開門時刻は4日間とも7時30分とする。
- (2) 記録は、ヤンマースタジアム長居第1ゲート外の掲示板に掲示する。
- (3) 競技場の使用について

※スタンド等使用した場所は各校で責任を持って清掃し、ごみ等は各校で必ず持ち帰ること。

[ヤンマースタジアム長居]

- ・スタンド・コンコースへの出入りは、メインスタンド入口南とバックスタンド入口南のみとする。選手の競技エリアへの入場は1階エントランスホールから行うが、**選手以外は入場できない。**
- ・バックスタンド下室内練習場（雨天時のみ使用可能）へは第2ゲートを使用すること。
- ・選手の場内での移動はグラウンド下の通路のみを使用すること。大会本部前は通行禁止とする。
- ・第1ゲートは競技終了後の退場のみを使用すること。
- ・スタンド使用区域…メインスタンドは第1ゲートと第4ゲート間。
記者席は立入禁止。
サイドスタンドおよびバックスタンドは中段通路より下部。
- ・スタンド観客席はテント設営の設営を禁止し、場所取りも禁止とする。

[ヤンマーフィールド長居]

- ・出入りは北西側出入口のみ。
- ・メインスタンド……中断通路より下、スタンド屋根下にはテントを設営しないこと。
- ・バックスタンド……テント設営可。
- ・サイド土盛りスタンド…中断より下にテントにはテントを設営しないこと。
- ・投てき競技中は第3～第4コーナー部分は選手・役員以外立入禁止。応援等はスタンドで行うこと。

- (4) 更衣室はヤンマースタジアム長居はメインスタンド1階、ヤンマーフィールド長居はメインスタンド1階にそれぞれ設ける。更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。
また、場所取り等、一切の私物をおいてはならない。
- (5) 場所取りについて
- ①ヤンマースタジアム長居
スタンド裏コンコースの、各府県で割り当てられた場所を4日間各校の場所として使用することができる。シート等は毎日撤去しなくてよいが各学校で責任を持って管理すること。テントは風で飛ばないようしておくこと。指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。
雨天時のみ解放する室内練習場で場所取りはしないこと。シート、ストレッチマット等は敷かない。
- ②ヤンマーフィールド長居
府県に割り当てられた場所を4日間各校の場所として使用することができる。テント・シートは毎日撤去すること。室内練習場を使用することができるが、場所取りはしないこと。シート、ストレッチマット等は敷かないこと。
- ③テント設営禁止場所・・・ヤンマースタジアム長居全体・ヤンマーフィールド長居メインスタンド屋根下およびサイド土盛りスタンドまた、両競技場の外（公園内）では場所取りは禁止・テントを張らないこと。
- ④雨天時使用の室内練習場で場所取りはしないこと。シート、ストレッチマット等は敷かないこと。
- (6) 横断幕・のぼり・部旗等について
- ①あらかじめ各府県監督から各校に割り当てられた箇所に設置すること。その際、常時設置してある業者広告を遮るように設置してはならない。
- ②一度設置した横断幕等は各校の責任で最終日まで設置したままでもよい。
- ③ビデオ監察に支障がある場合、移動・撤去してもらうこともある。
- (6) 応援はスタンドで行い、競技エリアに降りて行わないこと。また、集団での発声や連呼応援は自粛すること。（特にトラック競技のスタート直前は注意すること。）
- (7) 競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示する通路に従って移動すること。
また、通行禁止や使用禁止の掲示のある場合は、厳守すること。
- (9) 盗撮行為等を防止するために「撮影禁止区域」を定めているので、注意すること、
- (10) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。
- (11) 競技エリアに、商品名・商社名のついた衣類・バック類を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟競技規則に従うこと。また、競技エリアに携帯電話・スマートフォン等の通信機器の持ち込みは禁止。